



まちの話題 topics



6月のできごと



これからの季節にピッタリ

セントラルスポーツ代表の松元道芳氏が、6月8日、認定子ども園すまいるの園児にバッグを贈呈しました。園児たちは、自分の好きな柄のビニールバッグやメッシュバッグを選び大喜びの様子で、松元氏は「元気いっぱい体を動かし大きく強くなってください。いろんなことにチャレンジしてください」と述べました。



母校への恩返しに

今年還暦を迎えた田皆中昭和32年生還暦同窓会（西田安村実行委員長）が、6月21日に母校である田皆中学校へ寄付金を贈呈しました。同会のメンバーは約60名で、西田氏は「子どもたちのために使ってください」と牧原純一校長へ寄付を手渡し、牧原校長は「子どもたちの教育のために使わせていただきます」と感謝を述べました。



先人の知恵に学ぶ

第1回先人の知恵に学ぶ体験活動「ソテツの味噌造りの一連の体験活動」（知名町教育委員会主催）が、6月17日に中央公民館でありました。この活動は3回に分けて行われるもので、第1回目の今回は、身近にあるソテツについてのクイズや、ソテツの葉っぱを使った虫かご作りなどに挑戦しました。



ホーの安全を祈願して

瀬利覚字の「ホー開き」が、6月25日にジッキョメホーでありました。この「ホー開き」は、水の大切さを知ってもらおうと、同字子ども育成会（国本新一会長）が開催しているもので、川の中のゴミ拾いを行ったあと、安全祈願祭を実施。祈願祭が終わると、子どもたちが次々に川に飛び込み、思い思いに川遊びを楽しんでいました。



世界で活躍する選手のプレーを肌で感じて

サッカー日本代表で、ドイツのFCケルンに所属する大迫勇也選手が6月24日来島し、和泊町民グラウンドでサッカー教室を開きました。この教室は、沖永良部ライオンズクラブの主催で、大迫選手が鹿児島育英館中学校で指導を受けた田皆字出身の山平義幸監督との縁で実現しました。教室には、両町の小学生



から社会人まで約200名が参加。大迫選手とともに小・中・高校の各年代に別れてゲームなどを行ったほか、山平さんが講師を務めてボールを使った技術練習を行い汗を流しました。参加した子どもたちは、世界で活躍している大迫選手のプレーに目を丸くしながらも全力でゲームや練習に取り組んでいました。